

令和2年度 沖縄県立八重山農林高等学校 学校評価 【学校関係者評価】

I 学校教育目標（教育方針）

- 1 「愛郷愛土」の文化と伝統の継承に努める態度と「誠実・創造・実践」を体現できる技術の育成を図る。
- 2 自他の生命と人格を尊重・敬愛する精神と自ら学ぶ意欲と態度を育てる。
- 3 基礎的・基本的な知識や技術の習得を図り、進路を主体的に学ぶ意欲と態度を育てる。
- 4 社会や環境の変化に柔軟に対応したキャリア教育と安全教育の推進に努める。
- 5 コミュニケーション能力および豊かな人間性の育成を図り、地域産業の発展に主体的に寄与する態度を育てる。
- 6 特別支援教育の視点でユニバーサル・デザイン化の職業観・勤労観の育成を図る。

II 今年度の学校経営目標（経営方針）

- 1 全職員の教育的実現を通して、調和のとれた学校経営に努める。
- 2 教育目標の具現化を図る各学科・系列・コース制の教育計画推進と検証に努める。
- 3 PDCAサイクルを確立し、「探求・開発」教育に努め、生徒個々の進路を保障する学校づくりに努める。
- 4 教職員の資質・能力の向上と教育公務員としての自覚と涵養に努める。
- 5 学習環境を整備し、施設・設備等の教育条件の充実に努める。
- 6 学校・家庭・同窓・地域社会との密接な連携を図り、生徒の健全育成に努める。
- 7 働き方改革の実効性の向上と風通しの良い働きやすい組織風土を継続する。

III 評価（回答53名）

評価項目	具体的目標	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそう思わない D=そう思わない				自己評価	今年度の課題点	学校関係者評価	学校関係者からの要望等	
				A	B	C	D					→好評価 グラフ 低評価←
1 教育目標	自己実現が図れる生徒の育成	豊かな人間性を培う教育をしている	令和2年	25	30	1	0		B	<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況に課題が見られるため動意指導の強化が必要。 ・目標に対して職員の統一した意識での教育活動が課題。 ・基礎的、基本的事項の定着が課題だがそれ以前の学びに向かう姿勢の育成に苦慮している。 ・教育目標を達成するためには、教職員の働き方改革の推進が不可欠であると考えている。 ・学習環境・授業のユニバーサルデザイン化の充実 ・教科間の横断的な学習の取り組みが必要。農業部と普通科の教科の横断がもっと必要。 ・コロナ禍の影響で環境面や時間面でも多くの制限が設けられ、体力面で課題が残る学習状況になったと思う。 ・学力が低い生徒に対して、学校全体として学び直しに取り組む必要性を感じる。 ・知性の育成に関しては、生徒個々の力に応じた対応ができる教育課程の編成が必要と考える。 	B	職員の中とり改善が必要、結果として学生との時間の確保ができる。遅い体力の育成は帰宅後の生活にも係るため各家庭との連携が必要である。
			令和元年	24	29	0	0					
		職業観、勤労観を育む教育をしている	令和2年	25	27	4	1					
			令和元年	27	24	2	0					
		優れた知性と逞しい体力を育成している	令和2年	10	37	10	0					
			令和元年	10	35	7	1					
2 教育計画	教育目標の実現に向けた教育計画の推進	授業時数が確保され、充実した学習指導を実施している	令和2年	14	34	6	3		B	<ul style="list-style-type: none"> ・各種行事、学科の資格試験や実習などで授業時数が相当数削られ通常よりも少なくなった授業時数の中で、充実した学習指導を行うのは難しい側面があった。 ・学科改編後の課題の検証と解決に向けた具体的な取り組みが進んでいない。 ・もっと地域に活動内容をアピールしたほうが良いと思う。 ・特色ともなっているが、AS/ATやミックスクラス編成も含めて、見直し含め、継続検討が必要だと思う。 ・行事の精選削減を行い、授業確保を最優先にした見直しを行う必要がある。 ・校則について抜本的な見直しを含めた検討を行ってほしい。 ・新学習指導要領に沿った教育課程編成が必要。 ・学科改編で生徒は落ちたが、先生方は教科にさける時間が不足している。 	B	学科改編に向けて、学生・PTA等からのアンケートなどが必要と思える。特色ある学校づくりが行われていると思う。学科改編等で生徒が落ち着いた事は継続して欲しい。
			令和元年	7	40	6	0					
		特色ある学校づくりが行われている	令和2年	31	24	2	0					
			令和元年	35	17	1	0					
		学科改編により学校の雰囲気良くなった	令和2年	20	32	4	1					
			令和元年	24	25	3	1					
3 各教科・科目の指導	「わかる授業」「参加する授業」を通じた確かな学力の定着	学力の向上が図られている	令和2年	6	35	14	2		B	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板等の整備で、さらに視覚的効果を活かした授業展開が可能になる。 ・学習へ向かう姿勢の乏しい生徒への対応や要支援生徒など多様な課題がある。 ・ICTを活用し、視覚に訴える授業展開のさらなる工夫・改善を図る。 ・多様な生徒に応じたきめ細かな対応が本校職員はできていると感じている。しかし、それも少ない職員数でやるには限界である ・「わかる授業」については、教師のICT活用が増えたように感じる。 ・生徒が主体的に授業に参加する工夫は教員同士、情報交換しながら改善充実していったらと思う。 ・これまで体験してきたことや考えたことを、新しい知識と結び付けて深化させていく必要があると考える。 ・コロナ禍での学習方法等の創意工夫がされて良かったと思う。しかし、「学力の向上」は、継続的な課題と感じるので、何かしらの取り組みを学校全体で必要と感じる。 ・授業での工夫・改善、成功している実践例の情報提供、情報交換を活発に行えるようになると良い。 	B	ICT活用により、テーマを設定したり、グループ化の取り組みや他校との情報交流の推進が必要ではないか。
			令和元年	7	34	10	2					
		授業の工夫及び改善がなされている	令和2年	20	37	0	0					
			令和元年	15	35	3	0					
		生徒のプロジェクト学習が充実している	令和2年	18	31	7	1					
			令和元年	16	33	4	0					
4 総合的な学習の時間	自ら学ぶ意欲と態度を育成並びに自己解決能力の修得	科目「課題研究」に熱心に取り組んでいる	令和2年	24	31	2	0		B	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと記録学習を行うことが必要だと思う。 ・自ら学ぶ意欲と態度を育てるのが課題。学び直しの時間の設定 ・普段の各授業においてプロジェクト学習を取り入れた指導が「普通」になる必要があると考えている。 ・「課題研究」は、普通科の高校では出来ない経験として、生徒の主体性を育む科目となっていると思う。 ・生徒の興味関心を持たせるために、教員もさらに専門的な知識が必要だと感じる。 ・学習や実習の過程で生じた課題や疑問に対して、解決までもっていく力の育成が必要ではないか。多角面から思考し、多様な答えを容認する活動が必要であると考えられる。 ・地元のことをあまり知らない生徒が多いので、地元の文化や自然、農業についてもっと学べたら良い。 ・進路活動の取り組みが弱いと感じる。進路意識の向上から学ぶ意欲の向上も見込めるかと考える。 	B	進路活動の取り組みが弱いと感じる。進路意識の向上から学ぶ意欲の向上も見込めるかと考える。
			令和元年	23	28	2	0					
		生徒の自主的な学習態度を育成している	令和2年	19	28	9	1					
			令和元年	8	37	7	1					

評価項目	具体的目標	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそう思わない D=そう思わない				自己評価	今年度の課題点	学校関係者評価	学校関係者からの要望等	
				A	B	C	D					
				←好評価 グラフ 低評価→								
5 特別活動	望ましい集団活動を通じた心身の調和のとれた発達と個性の伸長	学級活動の充実が図られている	令和2年	11	37	9	0		B	・部活動よりアルバイトを優先させる傾向があるように思う。生徒の気持ちをどう部活動へ振り向かせるかが大きな課題だと思う。 ・学校生活をよりよくするための生徒会活動の在り方および学校組織としての生徒会の位置づけについて検討してもらいたい。 ・生徒会の活性化が顕著にみられ、学校行事の活性化につながっていると思う。 ・コロナの中で生徒会活動、部活動は難しかった。特に生徒会ご苦労様。自分自身としては、外部との調整やどこまでやって良いのかわからないことが多かったが良い経験にはなっている。 ・生徒たちの「德育」の観点からも、学級活動での取り組みが今後課題と感じる部分がある。担任だけでなく、学校全体で取り組むべき課題かなと感じる。部活動に関しては、大会参加は少ない状況ですが、昨年度に比べると少しずつ活動頻度が増えていると感じる。	B	コロナ禍で学級活動、部活動、生徒会活動等の実施は困難であった事が感じられる。少しでも活動頻度を増やして下さい。
			令和元年	13	31	8	1					
		生徒会の活性化が図られている	令和2年	18	32	6	1					
			令和元年	8	36	9	0					
		部活動の活性化が図られている	令和2年	7	32	17	1					
			令和元年	8	22	18	5					
6 生徒支援	個々の生徒に対応できる支援体制の確立	基本的な生活習慣の確立に向けた指導が充実している	令和2年	14	29	11	3		A	・勤怠指導に関して、学科間での指導にばらつきあるようにが見られる。 ・いじめ防止アンケートを各学期の定期考査時に行っており早期発見という面で今後も継続して欲しい。 ・勤怠についての指導が必要だと感じる。遅刻する生徒が多いため、全職員で取り組んでいく必要がある。 ・生徒を指導する上で、保護者と意見の違いがあった場合の対応が難しい。 ・基本的な生活習慣の確立に向けた指導として、授業をはじめとした本校の教育活動を生徒視点で見たときに魅力的であるものにする必要がある。 ・生徒支援は手厚い、その一方で上を目指している人のサポート体制が課題。	A	生徒指導にしっかりと取り組んでいると思う。
			令和元年	10	31	11	1					
		保護者、地域と連携した生徒指導である	令和2年	19	32	5	1					
			令和元年	21	30	2	0					
		いじめの早期発見・未然防止に努めている	令和2年	28	27	2	0					
			令和元年	29	24	0	0					
体罰のない指導に努めている	令和2年	48	8	1	0							
	令和元年	43	10	0	0							
7 進路支援	生徒個々の適切な進路選択に対する支援体制の確立	早期決定に向け、組織的な取り組みがなされている	令和2年	23	31	3	0		B	・昨年比べて、進路状況が見えないように感じる。 ・確認すべきものを「見える化」してほしい。 ・早期決定に向け、多様な生徒に応じたきめ細かな指導を行っていると感じる。 ・進路部の人数が少ないので業務量が多い様子が見られた。3学年主任と兼務するなどの工夫が必要 ・お互い連携しているが、来ていないところもあるので地道な改善が必要。 ・1年生から進路を考える時間をつくる必要があると思う	B	卒業後の重要な進路指導ですので、進路体制を強化するよう担当職員を増員して欲しい。
			令和元年	32	17	3	1					
		生徒並びに保護者へ進路に関する情報提供がなされている	令和2年	23	31	3	0					
			令和元年	23	29	1	0					
8 健康・安全指導	生命の尊重と健康に対する意識の高揚	健康教育の推進が図られている	令和2年	27	28	2	0		A	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、職員・生徒ともに発生ゼロをよく頑張っていると思う。ただ、時間が経つと少しずつ意識が薄れていくと思うので、継続した健康教育が必要だと感じる。 ・コロナ感染症対策によるマスク着用の徹底を特定の生徒ではあるが、根気強く促す。 ・自転車に乗りながら、交差点付近でのスマホ使用や悪ふざけなどがある。	A	心身共に健康な人づくりに励んで下さい。
			令和元年	23	28	1	1					
		安全教育的徹底が図られている	令和2年	31	25	1	0					
			令和元年	24	25	3	1					
9 環境美化	教育環境の整備及び施設・設備の充実	ごみ分別及び清掃の徹底がなされている	令和2年	35	22	0	0		A	・学校施設、農場の整備（特に産業廃棄物の処理）が十分でないと感じているため、整備のための予算拡充をお願いします。	A	新聞等で継続して分別や美化状況をアピるしてはどうか。
			令和元年	20	31	2	0					
		学校施設、農場がきれいに整備されている	令和2年	26	29	2	0					
			令和元年	11	36	5	1					
10 教職員	教職員の資質向上及び服務遵守の徹底	職員の研究と修養が行われている	令和2年	20	36	1	0		B	・教職員が研究・研修できるだけの時間がない、働き方改革を推進して業務時間中にそれらの時間確保ができるようにして欲しい。	B	
			令和元年	17	32	4	0					
11 家庭・地域社会との連携	保護者並びに地域社会との連携による学校教育の推進	PTA活動の活性化が図られている	令和2年	12	37	7	1		B	・今年度はコロナウイルスのためPTAとの連携ができなかったと思う。次年度は活動を活発にして欲しい。	A	
			令和元年	24	25	3	1					
		各種研究団体、教育機関との連携が図られている	令和2年	14	37	5	1					
			令和元年	12	37	4	0					
		HPやマスコミ等で学校の情報が発信されている	令和2年	43	12	2	0					
			令和元年	36	17	0	0					
12 生徒理解	生徒と教職員の信頼関係の構築	生徒理解に向けた取組がなされている	令和2年	34	22	1	0		A	・発達障害がある生徒に対して、職員はとてもよく配慮しながら対応していると思う。ですが、指導時に配慮する範囲を超えて、明らかに本人のわがままを通そうとする事が多いと感じる。 ・コロナで進学・就職の時期が重なり大変だった。受験制度も変り職員の研修をする必要があると感じる。	B	
			令和元年	34	18	0	1					
		個々の生徒に対応した就学（進級・転学・中途退学対策等）支援が充実している	令和2年	28	27	1	1					
			令和元年	29	23	0	1					

評価項目	具体的目標	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない				自己評価	今年度の課題点	学校関係者評価	学校関係者からの要望等
				A	B	C	D				
13. 校納金	教育活動の充実に向けた効果的な予算執行	徴収方法等について説明が十分なされている	令和2年	24	30	1	2		A	問題がないため、適切と思う。	A
			令和元年	19	31	3	0				
		支払項目等が適正である	令和2年	28	27	1	1				
			令和元年	24	26	3	0				
14	その他、学校へのご意見・ご要望										

・情報をオープンにし、風通しがよく自由に意見が述べられる職場にしてほしい。
 ・生徒確保が長年の課題であるが、魅力ある学校づくりを推進し、地域に必要とされる学校を目指したい。抜本的な学力向上対策を進めたい。
 ・校務分掌の仕事割り振り方を検討する必要がある。
 ・もう少し先生方がゆとりを持ち、学校教育について考える時間が出来る職場にして欲しい。先生方の身分にかかわらず、もう少し公平であって欲しい。本校の雰囲気は良いと感じるが忙しすぎるとも感じる。

令和2年度 県立八重山農林高等学校 学校評価（評議員評価）

5名回答

質問事項	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない E=わからない					←好評価 グラフ 低評価→			+	-
		A	B	C	D	E	%				
1 学校では学習の基礎的・基本的な事項の定着に努めている	令和2年	3	1	0	0	1	60% 20% 0%			80%	0%
	令和元年	4	0	0	0	0	100% 0%			100%	0%
2 学校は、生徒の様子や行事等について保護者に情報提供している	令和2年	4	1	0	0	0	80% 20% 0%			100%	0%
	令和元年	2	1	0	0	1	50% 25% 0% 25%			75%	0%
3 特色ある学校づくりが行われている	令和2年	5	0	0	0	0	100% 0%			100%	0%
	令和元年	4	0	0	0	0	100% 0%			100%	0%
4 学科改編により学校の雰囲気良かった	令和2年	3	1	0	0	1	60% 20% 0%			80%	0%
	令和元年	1	3	0	0	0	25% 75% 0%			100%	0%
5 学校ホームページやマスコミ報道等により学校の情報が発信されている	令和2年	4	1	0	0	0	80% 20% 0%			100%	0%
	令和元年	3	1	0	0	0	75% 25% 0%			100%	0%
6 学校は、校舎内外の環境整備に努めている	令和2年	4	1	0	0	0	80% 20% 0%			100%	0%
	令和元年	3	0	0	0	1	75% 0% 25%			75%	0%
7 学校の教育活動について、保護者への周知が図られている	令和2年	3	2	0	0	0	60% 40% 0%			100%	0%
	令和元年	2	1	0	0	1	50% 25% 0% 25%			75%	0%
8 教職員は、学習及び生徒指導等において厳しく指導している	令和2年	1	4	0	0	0	20% 80% 0%			100%	0%
	令和元年	2	1	0	0	1	50% 25% 0% 25%			75%	0%
9 教職員は、生徒の実態を良く理解して指導にあっている	令和2年	1	4	0	0	0	20% 80% 0%			100%	0%
	令和元年	4	0	0	0	0	100% 0%			100%	0%
10 生徒への学校生活全般にわたる指導が日常生活においても生かされている	令和2年	2	3	0	0	0	40% 60% 0%			100%	0%
	令和元年	1	2	0	0	1	25% 50% 0% 25%			75%	0%
11 学校としていじめを許さない体制づくりに努めている	令和2年	2	3	0	0	0	40% 60% 0%			100%	0%
	令和元年	4	0	0	0	0	100% 0%			100%	0%
12 学校は、体罰はしない、させないという雰囲気がある。	令和2年	2	3	0	0	0	40% 60% 0%			100%	0%
	令和元年	2	1	0	0	1	50% 25% 0% 25%			75%	0%
13 学校は、家庭や地域との連携をとり、生徒をよく指導している	令和2年	3	2	0	0	0	60% 40% 0%			100%	0%
	令和元年	2	1	0	0	1	50% 25% 0% 25%			75%	0%
14 学校は、生徒・保護者・地域の願いをくみ取って教育活動を行っている	令和2年	3	2	0	0	0	60% 40% 0%			100%	0%
	令和元年	3	0	0	0	1	75% 0% 25%			75%	0%

質問事項	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない E=わからない					←好評価 グラフ 低評価→	+	-
		A	B	C	D	E			
15 学校は、保護者や地域の人々に学校施設を開放している	令和2年	1	4	0	0	0		100%	0%
	令和元年	1	1	0	0	2		50%	0%
16 学校は、地域の人材を活用し魅力的な教育活動を行っている	令和2年	2	3	0	0	0		100%	0%
	令和元年	4	0	0	0	0		100%	0%
17 学校のPTA活動が、保護者と協力して行われている	令和2年	2	2	0	0	1		80%	0%
	令和元年	2	1	0	0	1		75%	0%
18 学校の様々な行事に、保護者や地域の人々が参加している	令和2年	3	2	0	0	0		100%	0%
	令和元年	4	0	0	0	0		100%	0%
19 担任の先生以外の職員に対して気軽に話ができる雰囲気がある	令和2年	3	2	0	0	0		100%	0%
	令和元年	3	0	0	0	1		75%	0%
20 家庭では、しつけや基本的な生活習慣に注意を払っている	令和2年	0	2	0	0	3		40%	0%
	令和元年	1	1	0	0	2		50%	0%
21 学校は、様々な徴収金について、その用途や決算について説明責任を果たしている	令和2年	2	2	0	0	1		80%	0%
	令和元年	2	0	0	0	2		50%	0%

質問事項	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない E=わからない					←好評価 グラフ 低評価→		+	-
		A	B	C	D	E	←好評価 グラフ 低評価→			
1 学校では学習の基礎的・基本的な事項の定着に努めている	令和2年	41	69	4	0	13	32% 54% 3%10%		87%	3%
	令和元年	31	39	2	0	11	43% 54% 3%15%		97%	3%
2 学校は、生徒の様子や行事等について保護者に情報提供している	令和2年	65	47	10	2	3	51% 37% 8%2%		88%	9%
	令和元年	40	30	8	4	1	49% 37% 10%5%		85%	15%
3 特色ある学校づくりが行われている	令和2年	92	26	4	0	5	72% 20% 3%4%		93%	3%
	令和元年	55	23	4	0	1	67% 28% 5%1%		95%	5%
4 学科改編により学校の雰囲気良かった	令和2年	45	46	3	3	30	35% 36% 2%24%		72%	5%
	令和元年	33	26	7	0	17	50% 39% 11%26%		89%	11%
5 学校ホームページやマスコミ報道等により学校の情報が発信されている	令和2年	73	42	3	0	9	57% 33% 2%7%		91%	2%
	令和元年	33	36	8	0	6	43% 47% 10%8%		90%	10%
6 学校は、校舎内外の環境整備に努めている	令和2年	71	44	3	1	8	56% 35% 2%6%		91%	3%
	令和元年	41	27	8	2	5	53% 35% 10%6%		87%	13%
7 学校の教育活動について、保護者への周知が図られている	令和2年	47	51	16	2	11	37% 40% 13%2%9%		77%	14%
	令和元年	23	42	10	3	5	29% 54% 13%4%6%		83%	17%
8 教職員は、学習及び生徒指導等において厳しく指導している	令和2年	39	53	9	4	22	31% 42% 7%3%17%		72%	10%
	令和元年	27	42	9	0	5	35% 54% 12%6%		88%	12%
9 教職員は、生徒の実態を良く理解して指導にあたっている	令和2年	37	51	11	4	24	29% 40% 9%3%19%		69%	12%
	令和元年	21	47	6	4	5	27% 60% 8%5%6%		87%	13%
10 生徒への学校生活全般にわたる指導が日常生活においても生かされている	令和2年	34	55	9	6	23	27% 43% 7%5%18%		70%	12%
	令和元年	24	43	6	3	7	32% 57% 8%4%9%		88%	12%
11 学校としていじめを許さない体制づくりに努めている	令和2年	31	49	7	6	34	24% 39% 6%5%27%		63%	10%
	令和元年	24	40	5	1	13	34% 57% 7%19%		91%	9%
12 学校は、体罰はしない、させないという雰囲気がある。	令和2年	44	46	4	3	30	35% 36% 3%24%		71%	6%
	令和元年	32	27	5	3	16	48% 40% 7%4%24%		88%	12%
13 学校は、家庭や地域との連携をとり、生徒をよく指導している	令和2年	36	60	9	4	18	28% 47% 7%3%14%		76%	10%
	令和元年	26	41	7	3	6	34% 53% 9%4%8%		87%	13%

質問事項	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない E=わからない					←好評価 グラフ 低評価→		+	-			
		A	B	C	D	E							
14 学校は、生徒・保護者・地域の願いをくみ取って教育活動を行っている	令和2年	41	51	8	2	25	32%	40%	6%	20%	72%	8%	
	令和元年	23	43	6	0	11	32%	60%	8%	15%	92%	8%	
15 学校は、保護者や地域の人々に学校施設を開放している	令和2年	51	51	7	2	16	40%	40%	6%	13%	80%	7%	
	令和元年	34	37	2	0	10	47%	51%	3%	14%	97%	3%	
16 学校は、地域の人材を活用し魅力的な教育活動を行っている	令和2年	53	50	4	0	20	50%	47%	4%	19%	96%	4%	
	令和元年	30	38	5	0	10	41%	52%	7%	14%	93%	7%	
17 学校のPTA活動が、保護者と協力して行われている	令和2年	42	47	4	1	33	45%	50%	4%	35%	95%	5%	
	令和元年	24	42	4	1	12	34%	59%	6%	17%	93%	7%	
18 学校の様々な行事に、保護者や地域の人々が参加している	令和2年	58	45	5	2	17	53%	41%	5%	15%	94%	6%	
	令和元年	33	42	6	0	2	41%	52%	7%	2%	93%	7%	
19 担任の先生以外の職員に対して気軽に話ができる雰囲気がある	令和2年	34	49	14	7	23	33%	47%	13%	7%	22%	80%	20%
	令和元年	29	42	6	2	4	37%	53%	8%	3%	90%	10%	
20 家庭では、しつけや基本的な生活習慣に注意を払っている	令和2年	41	74	8	1	3	33%	60%	6%	2%	93%	7%	
	令和元年	28	48	7	0	0	34%	58%	8%	0%	92%	8%	
21 学校は、様々な徴収金について、その用途や決算について説明責任を果たしている	令和2年	49	56	4	2	16	44%	50%	4%	14%	95%	5%	
	令和元年	29	49	1	1	3	36%	61%	1%	3%	98%	3%	

評価項目	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない				←好評価 グラフ 低評価→		+	-		
			A	B	C	D						
			←好評価		低評価→							
1 学校生活について	学校に行くのが楽しい	令和2年	87	87	31	18	39%	39%	14%	8%	78%	22%
		令和元年	98	80	24	7	47%	38%	11%	3%	85%	15%
	ホームルームの雰囲気が良い	令和2年	80	98	31	14	36%	44%	14%	6%	80%	20%
		令和元年	100	84	20	5	48%	40%	10%	2%	88%	12%
	農業祭、運動会、農業クラブ大会、球技大会など学校行事が楽しみである	令和2年	87	76	36	24	39%	34%	16%	11%	73%	27%
		令和元年	110	68	20	11	53%	33%	10%	5%	85%	15%
	生徒会や部活動が盛んで楽しい	令和2年	54	92	52	25	24%	41%	23%	11%	65%	35%
		令和元年	52	85	48	24	25%	41%	23%	11%	66%	34%
	校舎内外やトイレ等の清掃が丁寧できれいな学校である	令和2年	29	91	67	36	13%	41%	30%	16%	54%	46%
		令和元年	18	83	83	25	9%	40%	40%	12%	48%	52%
	あいさつが良く、元気のある学校である	令和2年	48	110	54	11	22%	49%	24%	5%	71%	29%
		令和元年	58	103	39	9	28%	49%	19%	4%	77%	23%
	友人がたくさんできた	令和2年	107	88	20	8	48%	39%	9%	4%	87%	13%
		令和元年	108	75	18	8	52%	36%	9%	4%	88%	12%
学校は、生活指導や服装指導がよくなされている	令和2年	70	82	45	26	31%	37%	20%	12%	68%	32%	
	令和元年	72	107	23	7	34%	51%	11%	3%	86%	14%	
学科改編により、学校の雰囲気が良くなった	令和2年	63	115	38	7	28%	52%	17%	3%	80%	20%	
	令和元年	81	95	25	8	39%	45%	12%	4%	84%	16%	
いじめや暴力は許さないという雰囲気がある	令和2年	74	92	38	19	33%	41%	17%	9%	74%	26%	
	令和元年	64	95	38	12	31%	45%	18%	6%	76%	24%	
2 学習面について	何を学習するか、いつも課題を持って学習に臨んでいる	令和2年	51	113	44	15	23%	51%	20%	7%	74%	26%
		令和元年	49	98	48	14	23%	47%	23%	7%	70%	30%
	授業はわかりやすく楽しい	令和2年	54	125	34	10	24%	56%	15%	4%	80%	20%
		令和元年	59	123	21	6	28%	59%	10%	3%	87%	13%
	集中して授業を受けることができる	令和2年	52	118	40	13	23%	53%	18%	6%	76%	24%
		令和元年	52	122	30	5	25%	58%	14%	2%	83%	17%
	授業では実験や実習など体験的な授業が多くある	令和2年	105	91	21	6	47%	41%	9%	3%	88%	12%
		令和元年	113	72	21	3	54%	34%	10%	1%	89%	11%

評価項目	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない				←好評価	グラフ	低評価→	+	-	
			A	B	C	D						
	将来の進路に結びついた授業をしている	令和2年	66	116	29	12	30%	52%	13%	5%	82%	18%
		令和元年	74	94	30	11	35%	45%	14%	5%	80%	20%
3 環境・美化について	清掃には必ず参加している	令和2年	105	101	13	4	47%	45%	6%	2%	92%	8%
		令和元年	77	108	23	1	37%	52%	11%	0%	89%	11%
	ゴミはきちんと分別してゴミ箱に捨てられている	令和2年	132	74	11	6	59%	33%	5%	3%	92%	8%
		令和元年	126	75	6	2	60%	36%	3%	1%	96%	4%
	学校の施設や農場はよく整っている	令和2年	109	99	11	4	49%	44%	5%	2%	93%	7%
		令和元年	95	93	13	8	45%	44%	6%	4%	90%	10%
4 教師について	先生には、何でも気軽に相談できる	令和2年	59	91	41	32	26%	41%	18%	14%	67%	33%
		令和元年	57	84	40	28	27%	40%	19%	13%	67%	33%
	信頼できる先生がいる	令和2年	86	83	30	24	39%	37%	13%	11%	76%	24%
		令和元年	79	77	33	20	38%	37%	16%	10%	75%	25%
	よくほめてくれる先生がいる	令和2年	75	101	31	16	34%	45%	14%	7%	79%	21%
		令和元年	79	84	32	14	38%	40%	15%	7%	78%	22%
	しかってくれる先生がいる	令和2年	90	104	22	7	40%	47%	10%	3%	87%	13%
		令和元年	96	84	23	6	46%	40%	11%	3%	86%	14%
	人としての生き方や命の大切さ、社会のルールを教えてくれる	令和2年	96	105	14	8	43%	47%	6%	4%	90%	10%
		令和元年	93	100	14	2	44%	48%	7%	1%	92%	8%
わからないことを丁寧に教えてくれる先生がいる	令和2年	104	92	17	10	47%	41%	8%	4%	88%	12%	
	令和元年	101	85	20	3	48%	41%	10%	1%	89%	11%	
教え方をいろいろ工夫してくれる先生がいる	令和2年	94	109	16	4	42%	49%	7%	2%	91%	9%	
	令和元年	103	84	17	5	49%	40%	8%	2%	89%	11%	
学校では、体罰が行われていない	令和2年	109	91	16	7	49%	41%	7%	3%	90%	10%	
	令和元年	110	80	12	7	53%	38%	6%	3%	91%	9%	
5 教育相談について	保健室は利用しやすい	令和2年	114	58	28	23	51%	26%	13%	10%	77%	23%
		令和元年	107	52	37	13	51%	25%	18%	6%	76%	24%
	教育相談室は利用しやすい	令和2年	75	84	36	28	34%	38%	16%	13%	71%	29%
令和元年		75	71	43	20	36%	34%	21%	10%	70%	30%	
学校は安心していられる場所である	令和2年	68	91	37	27	30%	41%	17%	12%	71%	29%	
	令和元年	69	91	29	20	33%	44%	14%	10%	77%	23%	

評価項目	評価の観点	年度	A=そう思う B=だいたいそう思う C=あまりそうは思わない D=そう思わない				←好評価	グラフ	低評価→	+	-	
			A	B	C	D						
6 家庭・地域との連携	地域の行事等に積極的に参加している	令和2年	76	75	37	35	34%	34%	17%	16%	68%	32%
		令和元年	70	83	37	19	33%	40%	18%	9%	73%	27%
	家では学校のことをよく家族で話し合う	令和2年	79	74	37	33	35%	33%	17%	15%	69%	31%
		令和元年	76	71	32	30	36%	34%	15%	14%	70%	30%
	学校からの便り、連絡等は家に届けている	令和2年	78	98	26	21	35%	44%	12%	9%	79%	21%
		令和元年	72	80	35	22	34%	38%	17%	11%	73%	27%
	八重山農林高等学校は、地域から高く評価されている	令和2年	79	106	26	12	35%	48%	12%	5%	83%	17%
		令和元年	123	71	10	5	59%	34%	5%	2%	93%	7%

(別紙様式)

令和2年度学校評価の実施状況等調査

学校名	八重山農林高等学校
記載者名	教頭 山城 篤

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	46	4	0	53

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	0	0				5

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	117	224	0				341

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(PTA総会にて提示)
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(PTA総会にて提示)

5 令和元年度の学校評価を踏まえ、令和2年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①基礎学力向上を見据えた学び直しや特別支援教育の充実
②新学習集指導要領に即した教育課程と学校設定科目の見直し
③ユニバーサルデザインを導入した学習環境の整備 施設・設備の充実
④校務分掌等の見直しや再編ならびに会議等の精選や運営改善

6 令和2年度の学校評価で明らかになった課題

①基礎学力の向上及び基本的な生活習慣の確立(継続課題)
②内規の見直し及び教育課程の再点検(AS・AT系列の見直し、学び直し科目の導入等)
③勤怠指導の見直し
④ICT機器の活用方法
⑤働き方改革の推進に向けた学校行事の精選や業務の明確化、適正化

7 令和2年度の学校評価を活かした令和3年度の改善点

①基礎学力向上を見据えた学び直しや特別支援教育の充実(継続課題)
②新たな評価の観点に即した内規の見直し及び新学習集指導要領に即した教育課程の編成
③継続的な勤怠指導の在り方の検討
④ICT機器を活用した学習環境の整備や機器の充実
⑤働き方改革の推進に向けた学校行事の精選や業務の明確化、適正化